



シンフォニーワイドSP メンテナンスガイド

〔保管用〕

このメンテナンスガイドは必ずお読みいただき、大切に保管して下さい。

この「メンテナンスガイド」を必ずよくお読みいただき、充分ご理解の上、ガイドに従って作業をすすめて下さい。
なお、交換後のトラブル等に関しては、
弊社は一切保障しかねますので宜しくお願いいたします。

※この「メンテナンスガイド」による作業は、弊社契約のレンタル事業者に限ります。

取り扱い店及び個人利用者様の作業は禁止させていただきます。

※メーカーの修理品等の発送は、お客様の元払いにてお願いいたします。

※修理中の代替品はございますが、発送及び返却の運賃はお客様負担となりますので、よろしくお祈りいたします。

目次

はじめに	1	4.バネ部の点検	8
I.付属品(パーツ)の点検	1	5.ネジ部の点検	9
1.取扱説明書	1	6.樹脂パーツの点検	10
2.シールの点検	1	III.性能点検	11
3.かさ止め用マジックテープ	3	1.車輪の点検	11
4.バッグ部の点検	3	2.走行点検	12
バッグ・座面の取りはずし方	4	3.ブレーキ・ストッパーの点検	13
II.外観点検	5	4.各開閉等の点検	14
1.フレームの点検	5	IV.点検の終了にあたって	14
2.溶接部分の点検	6	こんな時には	15
3.リベットかしの点検	7	ご注意事項	15

文中の★印は 修理料金一覧表
▲印は メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書
■印は パーツ交換マニュアルを表します。

このガイドに関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、
弊社サービス係までお問い合わせ下さい。

株式会社 島製作所 サービス係 ☎06-6793-0991

はじめに

メンテナンス作業を始める前にメンテナンスチェックリストを入手し、リストの順に従って作業を進めて下さい。

メンテナンスチェックリストの車種、色、サイズ、購入年月日、メンテナンス実施日、メンテナンス回数、及びメンテナンス実施者の各項目にご記入下さい。

メンテナンスチェックリストの付属品の点検、外観点検、性能点検の各項目をチェック(確認)しながら作業を進めて下さい。

チェックできない場合は、印に従って(★ 修理料金一覧表・▲ メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書・■ パーツ交換マニュアル)メーカーから取り寄せ(有料)、ウェブからのダウンロード等をおこない、すべての項目にチェック(確認)作業をしてから次に進んで下さい。

ウェブからダウンロードできるもの

- 取扱説明書
- メンテナンスチェックリスト
- メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書(▲)
- メンテナンスガイド
- 修理料金一覧(★)
- パーツ交換マニュアル(■)

メンテナンス時の作業点検

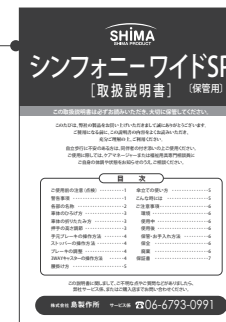
I.付属品(パーツ)の点検

1. 取扱説明書の点検

- バッグに入っているか点検して下さい。
(ない場合は▲ メンテナンスパーツ料金一覧表からメーカーに発注するかウェブからダウンロードして下さい)

2. シールの点検

- ① 反射シール(前後左右4ヶ所)
(ない場合は▲参照)
- ② ブレーキシール(左右裏表4ヶ所)
(ない場合は▲参照)
- ③ サイズシール(後脚左側1ヶ所)
(ない場合は▲参照)



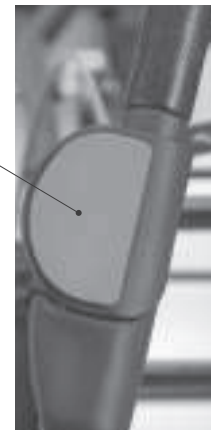
1. 付属品(パーツ)の点検



④前輪キャスターシール
(左右2ヶ所)
(ない場合は▲参照)



⑤肘置きクッションシール(左右2ヶ所)
(ない場合は▲参照)



⑥ブレーキ調整シール(左右2ヶ所)
(ない場合は▲参照)

等を点検して下さい。

◎①～⑥のシールが剥がれおちていたり、汚れている場合は、交換をおすすめします。
(▲メンテナンスパーツ料金一覧表を参照)



1. 付属品(パーツ)の点検

3. かさ止めバンドの点検
(ない場合は▲参照)



4. バッグ部の点検

①ホックの点検

- 各部のホックが正常に付いているか、またホックをとめることができるか点検して下さい。
- ◎ホックがとれていたり、ホックがきちっととまらない場合は、メーカーに修理依頼して下さい。(★参照)

②バッグ・座面の破れ、テープのほつれの点検

- ◎バッグ・座面に破れがある場合は、交換をおすすめします。(▲参照、交換は1セットになります)
- ◎テープにほつれがある場合は、メーカーに修理依頼して下さい。(★参照)

③バッグ底板の点検

- ◎底板が無かったり、破損していないか。(バッグ底面にホックで1ヶ所とめています)(▲参照)

④本体表示の点検

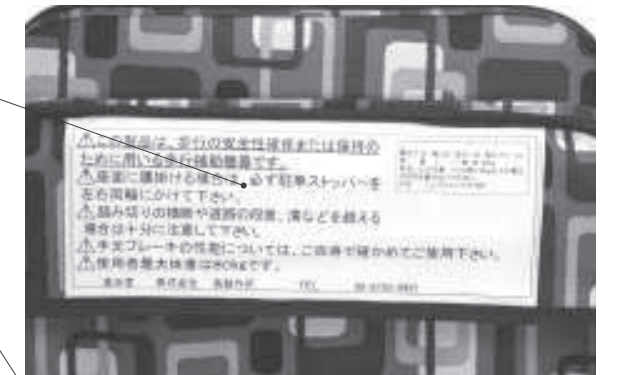
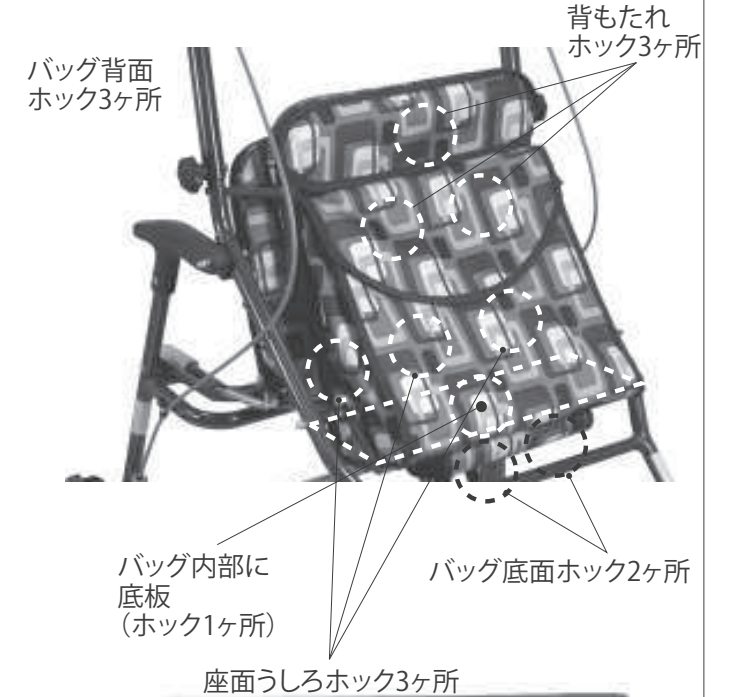
- ◎破れや汚れで文字が見えなくなっていないか。(▲参照)

⑤押し手カバーの点検

- ◎汚れや破れ、ほつれがないか。

バッグ・座面の汚れの点検、お手入れ

- バッグ・座面の汚れは、やわらかい布でふいて下さい。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないで下さい。
- ◎汚れが落ちない場合は、紫外線によりバッグ・座面が変色していることがあります。バッグの交換はセット交換をお願いします。(▲参照)
- ◎本体表示が破れたり汚れたりした場合、バッグの交換はセット交換をお願いします。



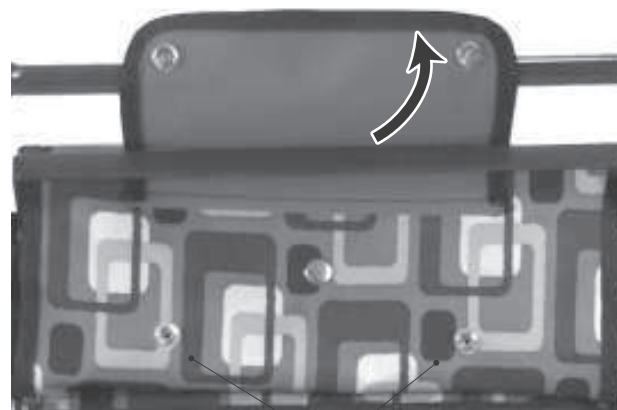
I. 付属品 (パーツ) の点検

バッグ・座面の取りはずし方

バッグ・座面の取りはずし方

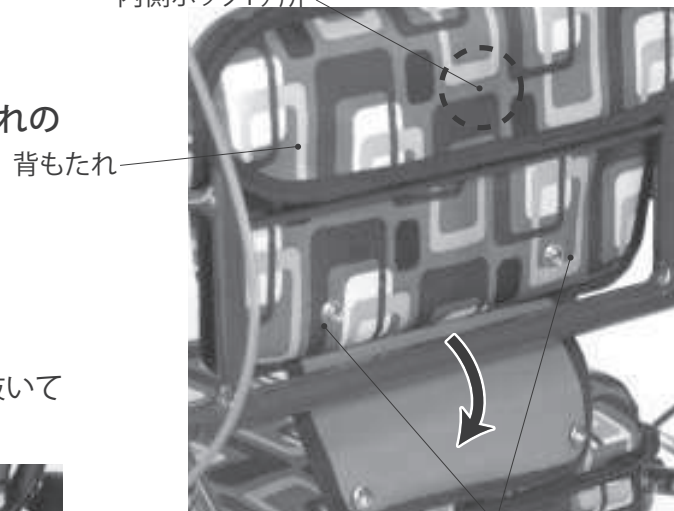
バッグ、背もたれ、座面のホックをはずしていきます。

1. バッグ底面のホック2ヶ所をはずす。
バック背面のホック3ヶ所をはずす。
●はずしたバッグを持ち上げて下さい。



バック底面ホック2ヶ所
背もたれ
内側ホック1ヶ所

2. 背もたれ背面のホック2ヶ所、背もたれの
内側のホック1ヶ所をはずす。



背もたれ
背もたれホック3ヶ所

3. 座面うしろのホック3ヶ所をはずす。
●座面を前にひっぱり座面パイプから抜いて
ください。(袋状になっています)



座面うしろ
ホック3ヶ所



座面を前に
ひっばる

押し手カバーの取り付け・取りはずし方

押し手のウレタンに沿ってゆるみのないよ
うにマジックテープで固定してください。



II. 外観点検

1. フレームの点検

本体からバッグを取りはずしてください。

1. フレームの点検

- ① フレーム本体に塗装はげやキズがついてい
ないか点検をしてください。
◎ フレームに塗装はげやキズがある場合
は、スプレー塗料で補修をしてください。
(■・▲ 参照)
- ② フレーム本体にゆがみがないか点検をして
ください。
・前脚のゆがみがないか
・後脚のゆがみがないか
・ハンドル部分のよじれがないか
◎ ゆがみがある場合は (★ 参照)



- ③ 肘掛け部のがたつきや傷がないか
◎ がたつきや傷がある場合は (★ 参照)



- ④ 折りたたみレバー部のがたつきや傷がな
いか
◎ がたつきや傷がある場合は (★ 参照)

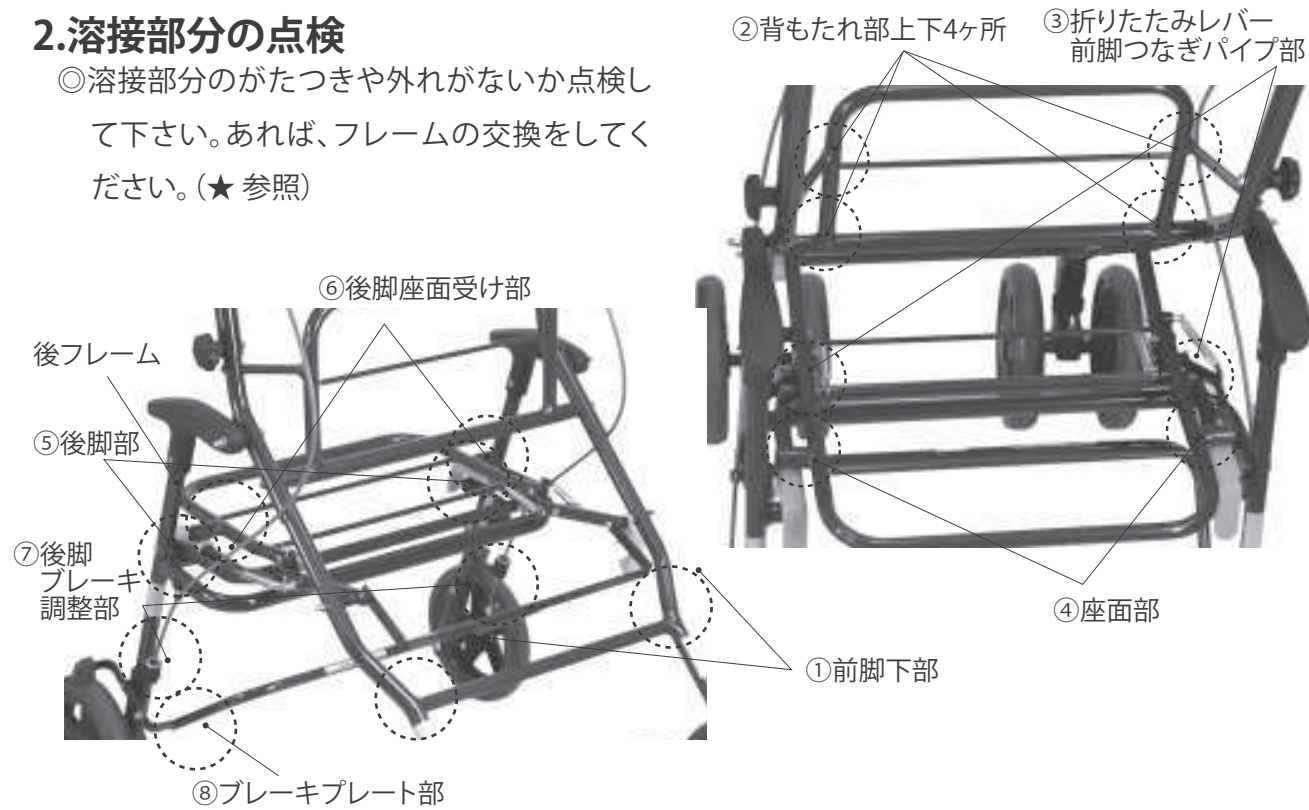
折りたたみレバー部

II. 外観点検

2. 溶接部分の点検

2. 溶接部分の点検

◎溶接部分のがたつきや外れがないか点検して下さい。あれば、フレームの交換をしてください。(★参照)



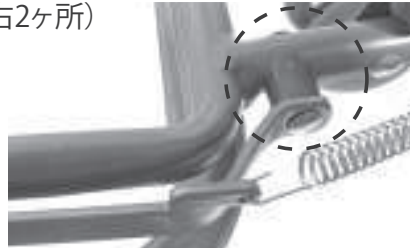
①前脚下部(左右2ヶ所)



②背もたれ部上下(左右4ヶ所)



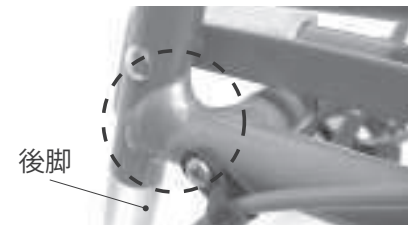
③折りたたみレバー前脚つなぎパイプ部(左右2ヶ所)



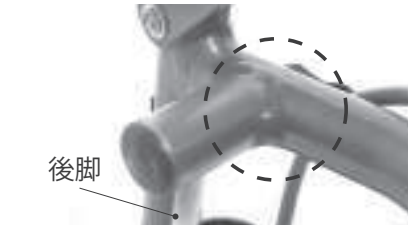
④座面部(左右2ヶ所)



⑤後脚部(左右2ヶ所)



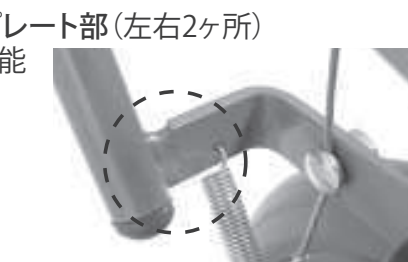
⑥後脚座面受け部(左右2ヶ所)



⑦後脚ブレーキ調整部(左右2ヶ所)



⑧ブレーキプレート部(左右2ヶ所)
(交換が可能 ★参照)



II. 外観点検

3. リベットかしめの点検

3. すべてのリベットが正常にかしめられているかの点検

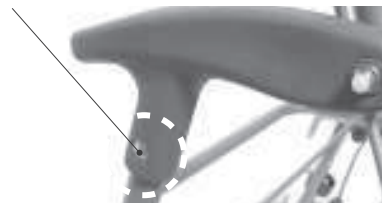
●リベットの先端部分がきれいにカールしているか確認して下さい。少しのがたつきの場合は金槌で少したたいて下さい。外れがあれば、メーカーに修理依頼して下さい。(★参照)



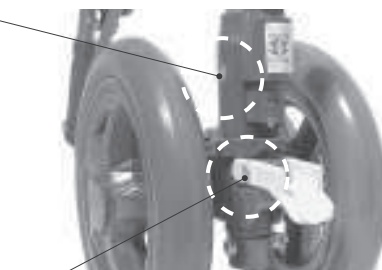
①ひじ置き部(左右2ヶ所)
(ブラインドリベット)



②ひじかけ部(左右2ヶ所)



③前輪キャスター部(左右2ヶ所)

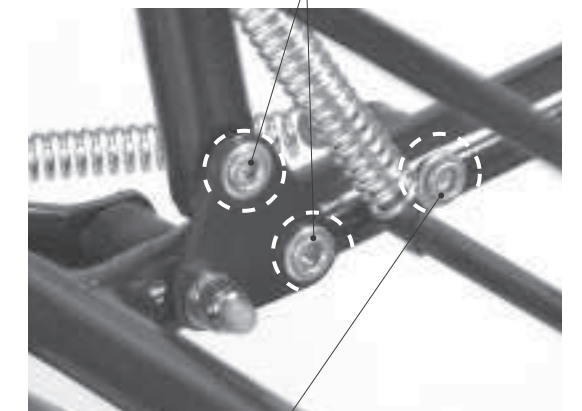


④前輪キャスターロック部(左右2ヶ所)



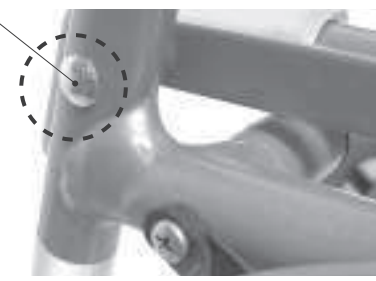
⑤後脚とブレーキプレート部(左右2ヶ所)

⑥座面部(左右4ヶ所)



⑦本体折りたたみバネひっかけ部(左右2ヶ所)

⑧後脚つなぎプレート部(左右2ヶ所)

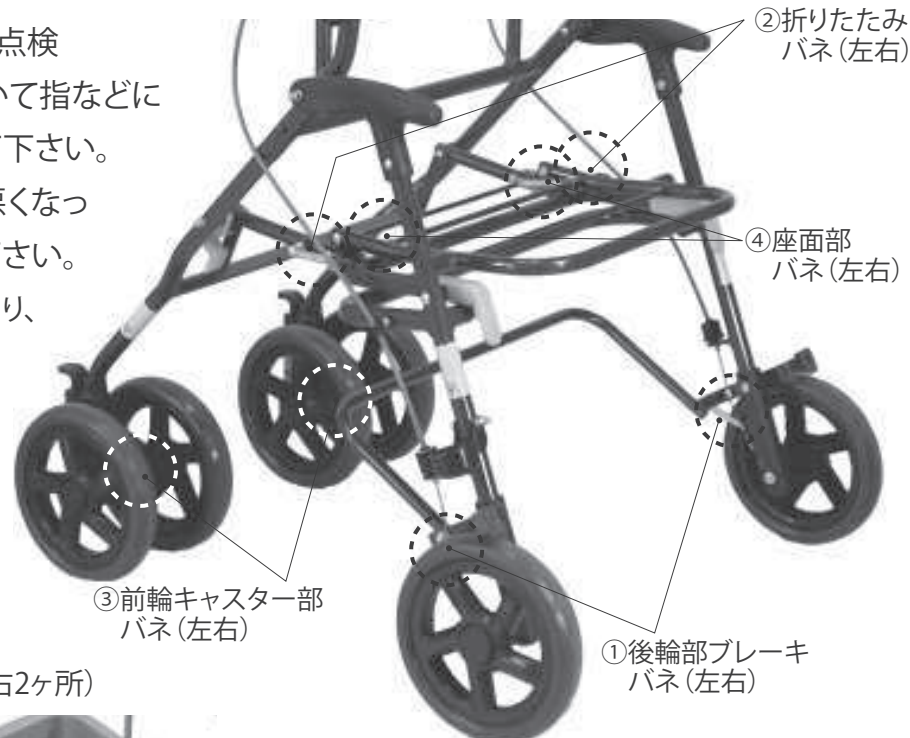


II. 外観点検

4. バネ部の点検

4. バネ部の点検

- バネのはずれ、錆等の点検
- バネの先端が外をむいて指などに触れないかを点検して下さい。
- バネが伸びて引きが悪くなっているか点検して下さい。
- バネがはずれて無かったり、錆びている場合、新しいバネと交換して下さい。
(■・▲ 参照)



① 後輪部ブレーキバネ (左右2ヶ所)



② 折りたたみバネ (左右2ヶ所)

先端が内を向いていること



③ 前輪キャスト部バネ (左右2ヶ所)



④ 座面部バネ (左右2ヶ所)



先端が下を向いていること

座面部丸棒の確認

⑤ 座面部丸棒 (2本)

座面の折りたたみに必要なバネを取り付ける丸棒です。(★ 参照)



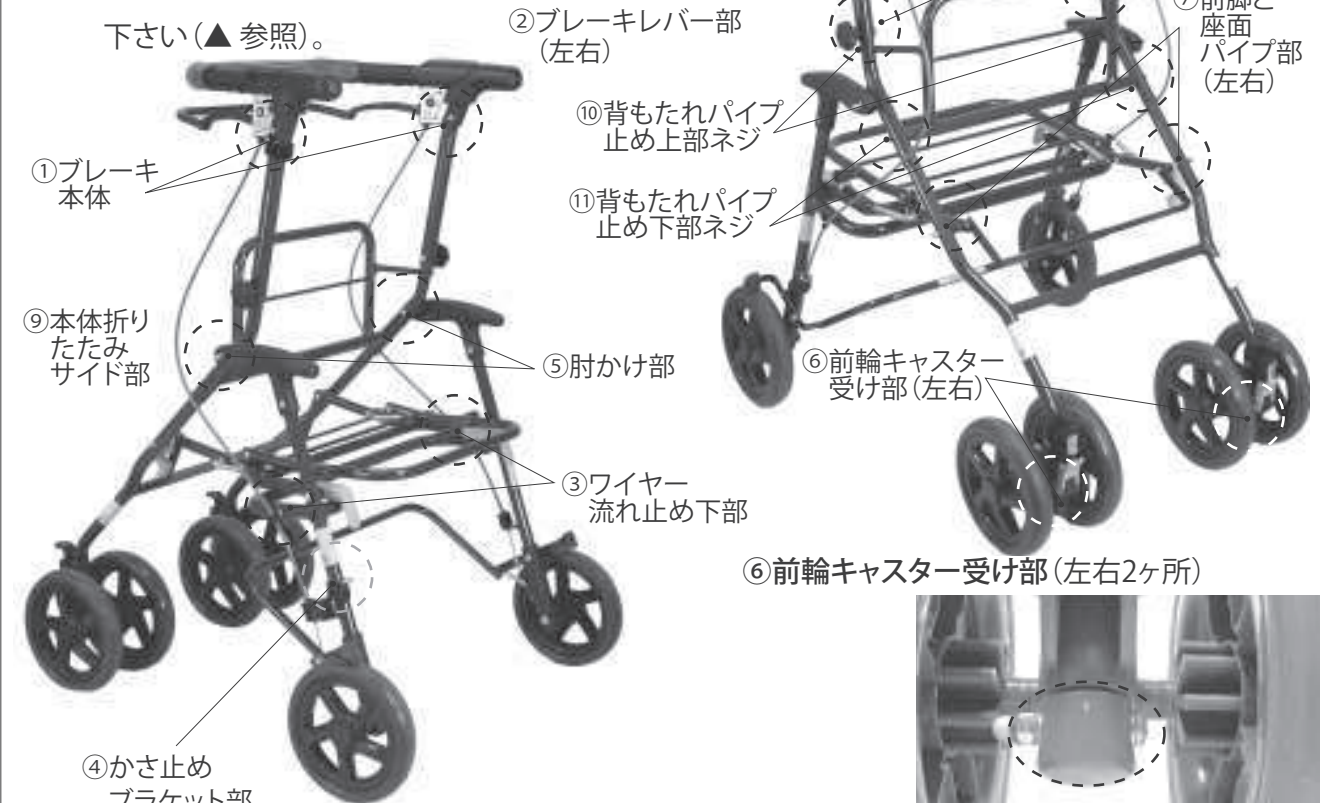
⑤ 座面部丸棒

II. 外観点検

5. ネジ部の点検

5. ネジ止め部分の点検

- ネジの脱落とゆるみの点検
- ネジがはずれたり、ゆるみがある場合は締め直し、ゆがんだりさびている場合は交換して下さい(▲ 参照)。



① ブレーキ本体

⑨ 本体折りたたみサイド部

④ かさ止めブラケット部

① ブレーキ本体 (左右2ヶ所)

② ブレーキレバー部 (左右2ヶ所)

③ ワイヤー流れ止め下部 (座面パイプ部左右2ヶ所)

④ かさ止めブラケット部 (左1ヶ所)

⑤ 肘かけ部 (左右2ヶ所)

② ブレーキレバー部 (左右)

⑩ 背もたれパイプ止め上部ネジ

⑪ 背もたれパイプ止め下部ネジ

⑥ 前輪キャスト受け部 (左右2ヶ所)

⑦ 前脚と座面パイプ部 (左右2ヶ所)

⑧ 押し手の高さ調節部 (左右2ヶ所)

⑨ 本体折りたたみサイド部 (左右2ヶ所)

⑩ 背もたれパイプ止め上部ネジ (左右2ヶ所)

⑪ 背もたれパイプ止め下部ネジ (左右2ヶ所)

左のみ開閉用ロックレバー

II. 外観点検

6. 樹脂パーツの点検

6. 樹脂パーツの点検

●樹脂パーツの割れ、汚れがないか点検して下さい。

◎割れがあったり、汚れ等が取れない場合は、交換して下さい。(■・▲ 参照)

注意：前輪キャスター部や車輪の樹脂部分が割れている場合、フレームがかなりゆがんでいることがあります。フレームの交換をおすすめします。(▲ 参照)



①押し手グリップ(左右2ヶ所)
交換する場合(▲・★ 参照)



②折りたたみレバー(左右2ヶ所)
交換する場合(★ 参照)



④ひじかけ(左右2ヶ所)
交換する場合(★ 参照)



⑤ブレーキタイヤ押さえ(左右2ヶ所)
交換する場合(▲参照)



II. 外観点検

6. 樹脂パーツの点検

⑥かさ止めブラケット(左後脚1ヶ所)
交換する場合(■・▲ 参照)



⑧ワイヤー調整ネジ(左右2ヶ所)
交換する場合(■・▲ 参照)



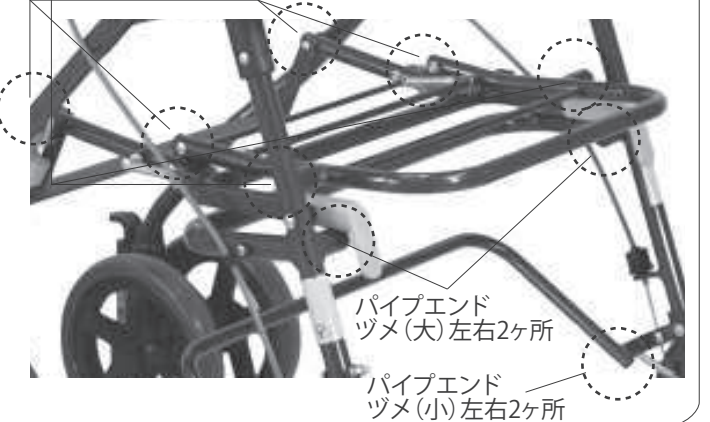
⑦開閉用ロックレバー
交換する場合(■・▲ 参照)



⑨パイプエンドツメ(大・6分パイプ用)
(座面受け部…左右2ヶ所)
(座面横部…左右2ヶ所)

⑨パイプエンドツメ(中・5分パイプ用)
(前脚接続部…左右2ヶ所)
(座面部…左右2ヶ所)

⑨パイプエンドツメ(小・4分パイプ用)
(プレーキプレート部左右2ヶ所)
交換する場合(■・▲ 参照)



III. 性能点検

1. 車輪の点検

1. 車輪の点検

①タイヤに摩耗や割れがないか、スムーズに回転するか点検して下さい。割れていたり摩耗が激しい場合は、交換して下さい。
交換する場合(■・▲ 参照)

○前車輪
(4ヶ所)



○後車輪(左右2ヶ所)



②車輪キャップ
(前後左右6ヶ所)



Ⅲ.性能点検

1.車輪の点検

③前輪 キャスター部 (左右2ヶ所)

- 前輪キャスター受けのネジの抜け落ちがないか確認して下さい。



⑤前輪、後輪の車輪がスムーズに回転するか

- 各車輪がスムーズに回転するか点検して下さい。
- 車輪と軸部分の汚れを拭き取り、油を2、3滴車輪と軸部分の間に注入して下さい。
- ◎スムーズに回転しない場合は、車輪外側に付いている4ヶ所のキャップを外し、車輪止めナットが車輪の軸に正確な位置でとまっているか確認して下さい。

⑥前輪キャスター部が左右60°及び360°スムーズに回転するか

- 車輪を持ち上げ、左右キャスター部をそれぞれ120°の位置にセットします。車輪が正面の位置にスムーズに移動するか点検して下さい。
- キャスター回転止めがスムーズに作動し、ロックや解除ができるか点検して下さい。

2.走行点検

- 前輪キャスター部を、左右それぞれ車輪固定部の位置にセットします。平らな所に車体を置き、左右押し手部分を突き押しします。真直ぐに、2~3m程走行するか確認して下さい。

- ①押した時に、手に揺れやガタツキ等の違和感を感じたり、うまく走行しない場合は、歪みを矯正して下さい。

- ②前輪キャスター部を、左右それぞれ車輪360°の位置にセットします。平らな所に車体を置き、左右押し手部分を押しします。スムーズに左右方向転換できるか確認して下さい。

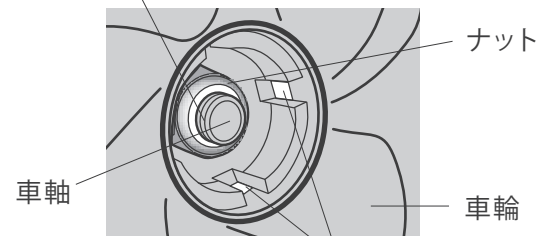
④前輪キャップの内側にある 車輪止めナット(左右4ヶ所)

- 抜け落ちやゆるみがないか点検して下さい。



車軸が2山ほど見えることによりナット内の樹脂が軸と充分かみ合ってゆるまなくなります。

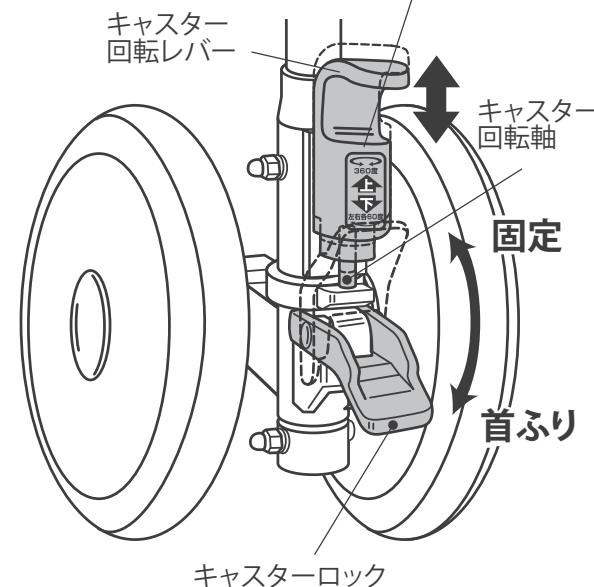
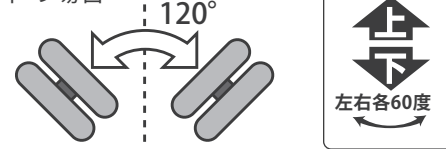
2山ほど見える程度(約1.5mm)



車輪キャップ用穴(4ヶ所)

- キャスター切替レバーが上の場合は360度回転

- キャスター切替レバーが下の場合



Ⅲ.性能点検

3.ブレーキ・ストップの点検

3.ブレーキ、ストップの点検

- ①ブレーキ本体、レバーの傷や割れがないか、ワイヤーの折れ曲がりや錆がないか、ブレーキ部のナットの抜け落ちやゆるみがないかを点検して下さい。
交換する場合(■・▲参照)

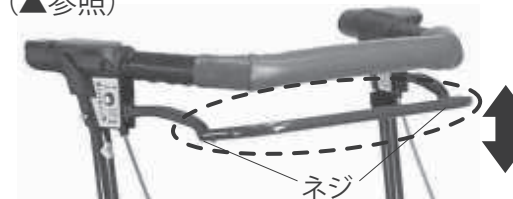
②ストップロックをかけた時 後輪両方にロックがかかるか

- 片方のブレーキレバーを下げた状態で、ブレーキプレートが両車輪に押し当たるか点検して下さい。
- ◎ブレーキプレートが両車輪に押し当たっていない場合は、ブレーキプレートの調整をして下さい。
- 車体を押して、車輪が回転していないか点検して下さい。

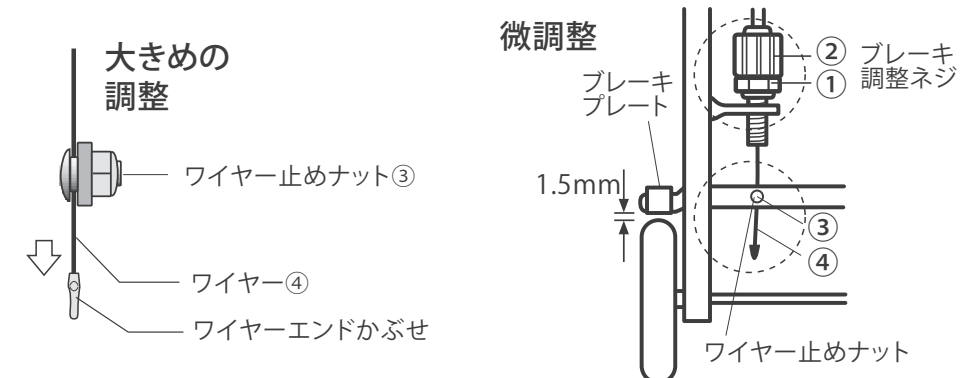
③ブレーキをかけた時、 両輪に均等にブレーキがきくか

- ブレーキレバーにガタツキがないか点検して下さい。
- ブレーキレバーを握った時に、レバーが固くないか点検して下さい。
- ◎ブレーキレバーが固い場合は、ワイヤーが折れ曲がっていることがあります。

④ブレーキレバーの先端部分にネジのゆるみによるがたつきはないか (▲参照)



ブレーキプレートと車輪が1.5mm位になるように調整します。



ブレーキワイヤーの折れ曲がりがないか

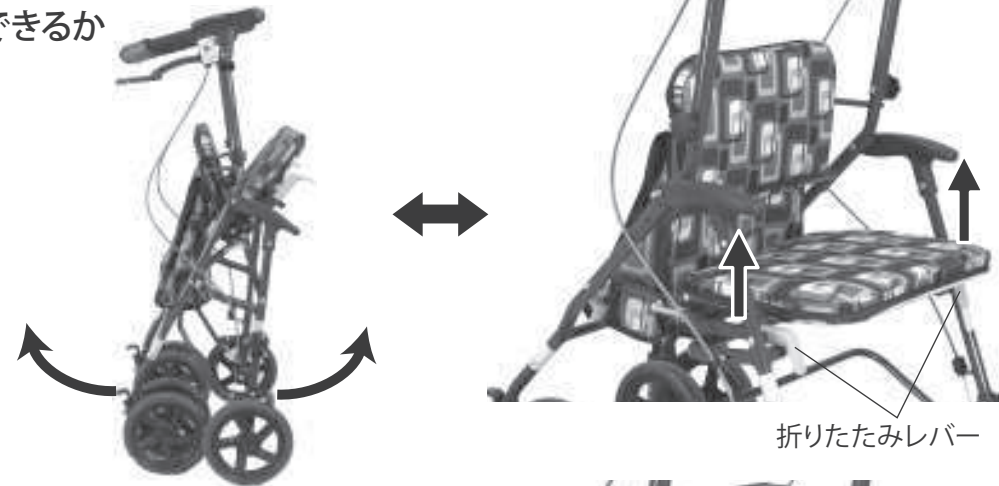


Ⅲ.性能点検

4.各開閉等の点検

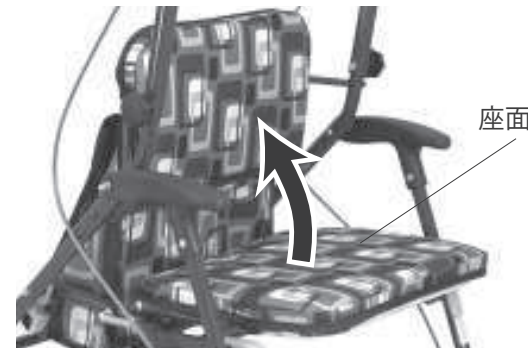
4.各開閉等の点検

- ①フレームの折りたたみがスムーズにできるか



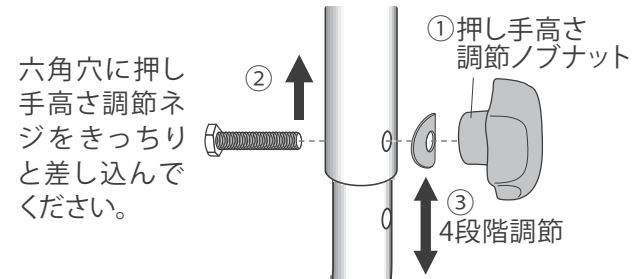
- ②座面の上げ下げがスムーズにできるか

- 座面を押し上げたり、降ろしたり、開閉の点検をして下さい。



- ③高さ調節がスムーズにできるか

- すべての高さ調節の穴に、セットができるか確認して下さい。



- ④開閉用ロックレバーが確実にかけられるか



Ⅳ.点検の終了にあたって

- 袋部をフレーム本体に装着して下さい。(袋部の付け方参照)
- バックに取り扱い説明書を入れて下さい。

こんな時には・・・

状況	原因	対処方法
押し手がグラグラと動く	①押し手の高さ調節部がきちんと固定されていない	①押し手高さ調節部分の固定金具が、穴にきちんとセットされているか、確認して下さい
ストoppaが効かない	①ブレーキ金具のねじれ、曲がり ②バネの劣化 ③車輪の破損 ④連結部のサビ	①ねじれ、曲がりを修正して下さい ②バネの交換 ③車輪の交換 ④注油する (注)使用中、少し前後に動きます
手元ブレーキが効かない	①タイヤの摩耗 ②ワイヤー止め位置のズレ ③ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①車輪の交換 ②ブレーキのワイヤー調節を行って下さい ③ブレーキワイヤーの交換
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター(前輪)を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに油を差して下さい ②バネの交換
その他、車輪の交換や車体の破損など		当社サービス係にて製品の修理または部品の交換を行います

⚠️ご注意事項

〈保管・お手入れ方法〉

- 車輪についた泥や汚れなどは、そのまま放置しないで、必ず落として下さい。
- よく絞った布で、土やほこりをふき取って下さい。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないで下さい。
- 乾いた布で水分を取り、日陰で乾燥して下さい。
- 袋部の汚れは、柔らかい布でふいてください。
- 車輪や車体がきしむ場合、連結部等に数滴注油して下さい。
(注油後、開閉操作を2・3回くりかえして下さい)
- 長時間使用しない時は、汚れを落とし、日陰で保管して下さい。
- 寒い時、暑い時戸外に置かないでください。袋部が変色したり、硬化して開閉できなくなることがあります。
- 説明書は本体とともに保管して下さい。
- 本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡し下さい。

〈廃棄〉

- 廃棄については各自治体の指示に従って処分・廃棄して下さい。

